

山陰門推協会報

第19号

ともしび

発行
浄土真宗本願寺派・山陰教区
門徒推進員連絡協議会
代表者 三村善信

事務局
〒690-0002 松江市大正町443-1
本願寺山陰教堂内



第4連区第四連区実践運動研修会(山口)

内容

14頁	12・13頁	10・11頁	2・9頁
.....			
門推役員名簿・お知らせ	事業報告・事業計画	連研ノート	寄稿、新門徒推進員紹介

会長再任の挨拶

鳥取因幡組 光輪寺

三村善信

去る、六月八日の次年度総会にむけて理事会が開催され、任期満了に伴う会長に選任再任され、責任の重大さを改めて痛感しているところであります。

もとより非才微力ではありますが、選任にあられた理事から全面的に協力する旨の温かい助言もあり、お引き受けさせて頂きました。

勿論、私も門徒推進員皆さまのご期待にそうよう微力ながら努力し、頑張りたいと改めて決意をしているところであります。

就任挨拶でも述べたところではありますが、前任者役員の方々には職責の委嘱を引き続き留任を要請し、内諾を得ましたので先づ、役員が率先して事にあたりたいと思いますので、皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ再任のご挨拶とさせて頂きます。

今年は、当教区において第四連区門徒推進員連絡協議会実践運動研修会が、五年毎にめぐってくる当番教区となっております。

来る十月二十七日・二十八日玉造温泉「松乃湯」で開催すべく実行委員会を立ち上げ、現在着々と準備を進めております。当教区の方々には万障お繰り合わせの上、多くの参加をして頂きたく重ねてお願いする次第であります。

「平成二十九年山陰教区門推協総会・研修会」

神門組 乗光寺

藤井 健 藏

去る、七月三十日山陰教堂で開催された首題の会に、参加させて頂きましたので、その様子や感想を述べさせて頂きます。

今回は、教務所長高橋格昭様の新任のご挨拶があり、その後平成二十八年度事業並びに決算報告や平成二十九年度の事業計画並びに予算案等の報告があり、何れも原案通り承認されました。

続いて、連研中央講師の季平博昭先生の「仏道をあゆむ」・伝灯奉告法要御満座のご消息をいただいてくをテーマとしたご講話がありました。

中でも、私達の心にひそむ自己中心性は、時として表に

現われて来ますが、阿弥陀さまの心のぬくもり、暖かさのあ
るご縁に出あい、ご信心をいた
だくことが、日々の生活のささ
え、又社会のための色々な活動
の原動力となるでしょう、と話
されました。(詳しくは、専如
ご門主様の「伝灯奉告法要御
満座の消息」をご参照下さい。

又、新しい連研ノートの内容
についての紹介もありまし
た。中央教習では、人生のお
さらいに来る狙いもあり、①本
物の門徒となる自覚と皆がさ
さえ合うことの大切さ、②御
同朋の仲間になる、③そしてや
さしさ、ぬくもりを感じあう、
等のことも学びあいました。よう
とのお話もありました。お互い
に余裕のある命と感じあつて
いきましよう。

合掌

邑智西組 浄蓮寺

小松 満 雄

平成二十九年山陰教区門
徒推進員連絡協議会の総会・
研修会が七月三十日、本願寺
山陰教区本堂教化センターで
開催されました。総会では平
成二十八年度事業・決算報告。
平成二十九年年度事業計画・会
計予算が提案され承認されま
した。

続いて研修会に入り、連研
中央講師の季平博昭先生から
「仏道をあゆむ」と題し法話が
ありました。

人はだれでも、若々しく健
康でいつまでも生きていた
い。そして理想的な人生を夢
見ながら生きています。しか
し現実には老いて、病に倒れ
死んでいかねばなりません。

理屈ではわかっているけど、
無病息災や長寿を祈り、思い
通りの人生の実現を祈り、ご
まかし受け入れようとしな
い。仏説無量寿経に、「もし
生ぜずば正覚を取らじ」あな
たが浄土に生まれ、仏となら
なければ阿弥陀さま自身、仏
にならないと誓っておられま
す。私たちの人生に起こる苦
難の出来事や、老、病、死に寄
り添って下さる阿弥陀さまの
働きを信じて受け取りましょ
うと力強く法話されました。

私達門徒推進員の役割は、
新門主様の消息に「和願愛
語」、「小欲知足」「自他ともに
心豊かに生きる社会の実現」
と頂きました。難しいことで
はできないが、すぐ出来るこ
とは和願愛語です。家族をは
じめ、道行く高齢者には大き
い声で、子供には優しい声、病
苦やご不幸の家族に出会った
ら、いたわりと励ましの声を

掛けましょう。また夫々おかれた立場で、朋友の環を広げお寺に一人でも多く足をはこ

べるよう努めたいものです。親鸞聖人は素晴らしい方でした。八百年前は戦乱、飢饉、

流罪乱世の世に迷える民衆に灯を揚げ、苦難をバネにされた金剛心に、敬服感謝し、次

世代に伝えたいと思います。

第四連区実践運動研修会

邑智西組 安楽寺

屋 原 貞 子

私の地域は、雪深な所なので、二ヶ月は積雪を覚悟に、冬

を迎えるのですが、本年は暖冬かと思えるほど、二月になってから、四〜五日雪の日が続き、降り止み、除雪車も運行して頂き、有難く思いこんな調子で冬を越せるなら、本年は暖冬？期待むなしく、二回目は優しい綿雪が、どんどん降り積もり、家々は「かまくら」になり停電や断水があちこちで発生、道路沿いの立木が、雪の重みで、なぎ倒され、交通止めになるな

ど、文化生活の危うさを痛感させられました。

三月四日の実践運動研修会には早やいずこにも残雪が見えず感謝しました。

資料第一に「念仏者の生き方」があり、私は本山の専如門主、伝灯奉告法要に、都合がつかず、行けませんでしたが、その後何回も誌上にて拝読させて頂いては居りましたが、再び有難く、心に銘記させて頂き、豊かな実践者であるべく再度念じました。

御講師、荒木由未師の御法話もはつきりとよく解り、平素「老耳で」と愚痴っていたのが

嘘の様に明るく響きました。

いつの日か岡井隆氏の御著書に出合いたいと念じております。

子供の善導は親の倫理実践からと学ばせて頂いておりますが、食前食後の言葉。お寺参りの事。大人がやってみせる。人生の事話し伝えることが大事と思っております。インドには「喜捨」という言葉があるそうですが、私達は七施を学ばせていただきました。①眼施②和顔悦色施③言辞施④身施⑤心施⑥床座施⑦房舎施

話し合い法座で、私は五班でしたが、私達のグループの中



に、式章に名札をつけていらっしゃいました、これは良い事だなと感じました。こうした会では、自己紹介をするのが前例ですが、名前を覚えやすく、印象に残り良い事ではないかと感じました。

教区門推実践運動研修会

神門組 願立寺

桑 本 巖

昨年十月二十八、二十九日の両日、山口市湯田温泉ホテルかめ福で、

お寺へのご縁

つくり つなぎ 深める

をテーマに開催され、地元以外では当教区が最大の二十八人の参加でした。

初日は開会式のあと福岡教区志摩組海福寺前任職 松月博宣師から

・寺院の活性化とは何か
・寺院が今日まで続いて来たのは何故か

などの問題提起がありました。

十五班に分かれての話し合法座では、門徒推進員が、ご縁づくりの推進者になりましたとの結論でした。

夜の交流会は大変盛会であ

り、当教区からも高橋宗興師、奥井昌子さんが活躍されました。

二日目は、アトラクション、全体会議に続き、昨日の松月師から、

・お念仏を日常生活の中で呼んでいただきたい

・如来さんを感じる門徒になつていただきたい

と、まとめの講話がありました。今日の課題で、目頭をおさえられた参加者を見かけましたことを報告いたします。本年は当教区が当番です。活性化のため尽力いたします。

合掌

出雲組 妙壽寺

湯 浅 美恵子

三月四日(日) 山陰教区門徒推進員連絡協議会の主催で、

山陰教堂において実践運動研修会が開催され、出雲組から十七名(妙壽寺から四名)が参加しました。

講師は、大田西組西臨寺住職の荒本由未師でした。「ご親教『念仏者の生き方』に学ぶ」と題してのご法話をいただきました。

また、「門徒推進員の在り方について」の話し合法座の問題提起として、吉野源三郎の「君たちはどう生きるか」の主人公コペル君の話から始まりました。

この本の原作は戦前に書かれた物語を漫画版として出版され、一過性のブームを超えた社会現象となつています。私もある雑誌に紹介されていたので、興味を持って聞きました。

仏教とは、自己中心に生きている私の人生を、正しい味方の教えであると語りかけてくださいました。

話し合法座では八班に分

かれて、日頃の考えや思いを自由に話し合いました。

門徒推進員として、護持活動の推進として、住職の手助けをしたり、子や孫に教えを伝えたりする。親が子どもに精神的なことを伝える。お寺に足を運び聴聞する。等、いろいろと話し合いました。

この実践運動研修を通して、ご恩をいただく身に改めて気づかされました。

合掌



寄稿

共に歩もう



組連研を担当して

邑智西組 安楽寺

白須 淨真

邑智西組の連研を二カ年間、初めて担当した。一年間十二回の連続講座は、組内の各寺院を会所として、原則として会所住職を講師としてお願いして実施した。受講生は、毎回十余名であった。

各寺院を会所として巡回する方式は、地域のお寺と住職を知っていただくよい機会となり、受講生には大変に好評であった。会所住職にプログラムに沿って担当テーマによる研修と

話し合いをお願いしただけでなく、当寺の歴史や所蔵されている諸資料にも触れて頂いたことも、好評の要因であった。本堂大屋根のコテ絵、記念碑、妙好人の資料などは、紹介して頂いた一例である。

『み教えと歩む 浄土真宗必携』をテキストの活用を会所住職にお願いしたが、前回との連続性が難しかったのが現状で、一人の講師による連続講座が分かりやすいのではないかという意見が、受講生と住職双方から寄せられた。確かにその通りであるが、一年間十二回という連続講座を組内の一人の住職に一年間担当して頂くことは、現状としては苦しい。担当者も毎回の二年間の連続講座のお世話、勤めと重なって大変であり、参加をお願いした各寺院住職にあってもそれは同様であり、今年度は休講せざるをえなかった

のが現状である。また「話し合い法座」は、目ざすべきあり方であろうが、それを望まないとの受講生の意見も多かった。また連続性という課題に対しては、講師を依頼することも可能であるが、その予算措置と連続十二回という原則を大幅に緩和する柔軟性も必要であろう。

浄土真宗のみ教えを深く掘り下げ、しかもそれを熱心に受講して頂けることは、大切にしなければ、組内の意見も求め、現状を踏まえ検討を重ねていくこととしたい。

組連研只今進行中

出雲組組長 月光寺

蓮岡 隆章

出雲組では平成三十年一月から七月にかけて第十二期連研を実施しております。

参加者の募集にあたっては

『門徒推進員養成』のための研修であること、本山での『中央教修が最終過程であること』等を示して参加者を募りました。

前期よりは若干少ない参加者数ではありましたが、二十六名で七月の修了式を迎えようとしております。

今回は副組長として連研を担当しましたが、まだ連研ノートEができたばかりで、取り敢えず項目を並べ替えたりしながら慌ただしい舟出でありました。

今から思えば何とも心許無いことでしたが、それでも二十名近く中央教修を受講し、現在各寺の活動の中心となって活躍していただいております。

今回は担当の副組長さんが綿密な計画のもと、それぞれの役割分担を決め無理なく進めており、七月の修了式には中央教修の申込書一式と修了証を渡して第十二期の連研を閉じますが、

その成果が期待されます。

出雲組は現在一五〇名ほどの門推を抱えています。高年齢や病氣等で休会の届けも多く、前回第十一期連研の時に掲げた目標「一八〇名」にはなかなか近づけないでおります。

しかし確実に門推は各教化団体の中枢を占めつつあり、これからの活躍が楽しみであります。

「連研」とともに

大田東組専勝寺 教区研修講師

金 盛 徳 照

私は約十年前から中央教修に関わるようになりました。それまでの私は、苦悩している方とどのように向き合っているのかを考えたこともありませんでした。差別を初め、ハンセン病やヤスクニなど様々なことを学び、その学んだことは過去の話では

なく、現在進行形で眼の前にありました。「誰一人漏らさず、必ず苦悩から救い取る」という本願を依りどころとすると言いながら、苦悩している人から目を背けてしまう自分のありように気付かされたのは、中央教修の現場でした。人々の苦悩の中に飛び込んで、ともに阿弥陀さまの救いを喜んでいかれた親鸞聖人のみ跡を訪ねていくということができていない自分のありようを知らされることから、念仏者としての第一歩を改めて踏みだしました。中央教修に一人でも多くの方に出遇っていただき、様々な現実社会の課題に向き合う中で、念仏を依りどころとして生きるとはどういうことを共に考えていただきたいです。そして自分自身、そして阿弥陀さまのであいを再確認して、念仏者としての道とともに歩みたいのです。

寄 稿

会員寄稿



第十四期門徒推進員養成江津組連統研修会実施にむけて

江津組 西教寺

岡 本章 夫

私は二〇〇九年に中央教修を受講し、門徒推進員の自覚に気付かされました。以降三期の組連研に参加してきました。江津組門推連は二〇一二年に設立し、現在会員数十六名で活動しています。

これまでの組連研は組会の三役で企画し、門推連が当日のお手伝いという形で開催されてきました。

この度、江津組では「御同朋の社会をめざす運動」の組委員

会が設置され、連研は寺院教化支援部の運動として位置付けられ各活動担当委員によって運営されていくことになります。

門推連からもこの寺院教化支援部に参画し、これまで以上に積極的に連研の運営に関わっていくことになります。

これまでの連研では全十二回の講師を組内の住職方で行っていましたが、参加者も一部の寺院からだけになり、門信徒の参加が期を追うごとに減少していました。

今後とも人口減少社会の中にあって浄土真宗のみ教えを伝え広めていくために、組全体の活動として、一人でも多くの門徒推進員（門徒の自覚を持った人）を育てていくため、「結ぶ絆から、広がるご縁へ」をスローガンとして、各寺院に一人の門推を目標にたくさんの方に参加していただくよう、門推連として朋に聴聞していきたいと思ひます。

合掌

寄稿

新会員の声



中央教修に参加して

鳥取因幡組 養源寺

市村 幹也

住職の勧めもあり、平成二十九年十月二十日より中央教修を受けてきました。

最初は初めての参加ですし、まわりも初めての方ばかりで緊張しましたがスタッフの方も皆各地から集まって来られた方だという事も知り、同じ班の方とても話しやすい方ばかりで大変ありがたかったです。色々の地域の方が集まっただけの出会いがあり、教修を通して、講師の方のお話

しや話し合い法座の中でのそれぞれの意見を聞きながら自分の意見も言わせて頂いて大変勉強になりました。

また、他のお寺の状況や取り組みもお聞きしてこれから自分が門徒としてどうしたらいいかを考える良いキッカケになりました。

またこれからの日々を通じてお寺と関わりながら精進したいと思っています。

三泊四日の教修を終えて多くの御縁がありました事を感謝致します。

御同朋の社会をめざします

浜田組 光現寺

佐々木千恵美

第二五五回門徒推進員中央

教修は、二〇一七年九月一日より三泊四日の日程で行われました。四十一名の受講者、二

十三名のスタッフ・門徒推進員等の総勢六十四名でした。

私は人前での要約発表が苦手です。自分の意見を述べる事もやや引くところがあります。それゆえに中央教修の参加も不安を抱えながらの参加でした。受付時、かなりの緊張感で恐ろしい形相となっていたようです。

そんな中、スタッフの方が「ようこそ」と明るい笑顔で声をかけてくださり緊張感が和らぎ、とても嬉しかった事を思い出します。それから、全国から参集された方々と同じ目的を持つ同朋として法話をもとに班別の話し合いを重ねました。自分の今の思いを率直に出し合う貴重な学びとなりました。

私は中央教修の法座の中で次のテーマが心に響きました。それは「御同朋の社会と

は(差別)」です。

勤行集には必ず平等施一切と書かれています。私が生きる上で大切に思う平等です。

まだまだ平等が難しく感じる今日と感じます。差別と被差別から解放していくため、私は差別を無くすという強い気持ちを持ちました。今後は門徒推進員として、御同朋の社会をめざす運動に関わってきたいと思っています。また、差別を無くすためにお念仏の教えを聞き、み教えに生きようと決意をあらたにしました。そして、家族や周りの方々と共ににお寺に参拝しお聴聞を重ねる所存です。

具体的な実践として、まずは食前・食後の言葉を声を出して申していきます。

夜のお礼は、夫と一緒に正信偈と重誓偈を日替わりでお勤めをしていきます。

孫が幼児となった暁には親子三代で、お念仏申す身となるよう努めてまいりたいと思っています。

このたびの中央教修での多くの学びを基底に据え、門徒推進員として精進してまいります。

合掌

門徒推進員としての自覚

神門組 善福寺

小林 憲 司

前住職より連研終了時に中央教修を勧められていましたが、仕事の都合で受講することが出来ず、常に心の片隅に住職の声であまり気負わずに気楽な気持ちで受講して下さいと言われた事が気になり二〇一七年第二五七回門徒推進員中央教修を十月二十日より三泊四日の日程で北海道から鹿児島を受講者四十五名が各班

六名〜七名の七班編成でスタッフを中心に法座1「であい」、法座2「み教えからの気づき〈神〉」、法座3「御同朋の社会とは〈差別〉」、法座4「救いと歩み〈浄土〉」のテーマを中心に一人ひとりが抱える悩みや思いを共に考え、課題を共有して繰り返しながら話し合いました。

私は、こんなに知らない自分に気づき率直に皆様に対し、感謝の気持ちでいっぱいでありました。これからは、門徒推進員として自他共に心豊かに生きて行くことが出来る社会の実現に努めて参りたいと思います。

合掌

重ねると共に次世代へ南無阿弥陀仏の継承に努めます。

- ①小林憲司
- ②神門組 善福寺
- ③お寺の行事や法座等に積極的に参加し仏教壮年会の一員として仏教壮年会の発展に取り組めます。また、阿弥陀さまのご縁に感謝しお寺に気軽に足を運んでもらえる縁づくりに努めます。

- ①田中涕一(たなかていいち)
- ②鳥取因幡組 浄善寺
- ③2017年、第255回中央教修を修了。私は浄善寺で初めての門徒推進員として自覚してお寺のために頑張ります。

- ①小畑実
- ②神門組 長泉寺

新しく門徒推進員になられた方々

※掲載順は登録番号順

いく」ように努めます。

- ①内部武典(うちべたけのり)
- ②飯南組 西正寺
- ③阿弥陀さまの前で誓った決意表明。背かないよう、若い人の気持ちがお寺に向くよう、働きかけたいと思います。

- ①三宅信子(みやけのぶこ)
- ②邑智東組 真清寺
- ③帰教式で頂いた法名を名のつての決意表明、法座でのスタッフや皆様との話し合い今改めて思い起こしています。

- ①佐々木千恵美(ささきちえみ)
- ②浜田組 光現寺
- ③門徒推進員を自覚し、聞法を

質 問

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属寺
- ③門徒推進員としての決意

- ①市村幹也(いちむらみきや)
- ②鳥取因幡組 養源寺
- ③連研や中央教修を通して多くの方との出会いがありました。このご縁を大切に精進したいと思います。

- ①水野 彰(みずのあきら)
- ②鳥取伯耆組 香寶寺
- ③第259回中央教修での決意表明のとおり「自分で何が出来るか考えお寺とかかわって

山陰教区門徒推進員連絡協議会・会則

〔名称〕

第1条 この会は「山陰教区門徒推進員連絡協議会」という。(以下「この会」という)

〔事務局〕

第2条 この会の事務局は、山陰教区教務所に置く。なお、この会に関する山陰教区教務所における事務局(事務・会計)は、山陰教区教務所職員に委嘱することとする。

〔目的〕

第3条 この会は、山陰教区内の門徒推進員相互の連帯、及び親睦を図り聞法者としての自覚と研鑽に努め、また門徒推進員の役割を果たすと共に、宗門の実践運動推進のための活動を行うことを目的とする。

〔活動〕

第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。
1、教区の実践運動に参画し、門徒推進員としての活動に努める。
2、研修会、法座活動、会報発行など目的実現のための各種活動を行う。
3、門徒推進員の養成に関する活動を行う。
4、所属寺院における諸行事への参加、各教化団体と連携のもと、寺院の興隆に努める。
5、その他、必要とする活動を行う。

〔構成〕

第5条 この会は、門徒推進員の登録者をもって構成する。
2、この会を退会・休会するとき、は、所定の用紙(様式1・様式

2)にて手続きを行うこととする。

〔役員と任期〕

第6条 この会に、次の役員を置く。
会長 1名
副会長 1名

理事 若干名(事務局担当1名・会計担当1名を含む)
監事 2名

2、役員の内任期は2年とし再任を妨げないものとする。なお、役員に欠員を生じ、その後任となつた役員の内任期は、前任者の残存期間とする。

〔役員の内任期〕

第7条 この会の役員の内任期は、次のとおりとする。

1、理事は各単位組の門徒推進員協議会から選出された会員とする。なお、理事の員数は次の通りとする。ただし、組の門徒推進員協議会が未結成のときも、下記に準じて理事を選出する。
(1)単位組の会員数49名まで 1名
(2)単位組の会員数50名以上 2名以内

2、会長・副会長は、理事会における理事の内から委嘱する。
3、事務局担当理事は、会長が理事の内から委嘱する。
4、会計担当理事は、会長が理事の内から委嘱する。
6、監事は、会長が会員のうちから委嘱する。

〔役員の内任期〕

第8条 役員の内任期は下記のとおりとする。
1、会長は、この会を統括し代表する。また、山陰教区教務所長

の承認を得てこの会の運営にかかる会議などを招集する。

2、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

3、理事は、この会の運営にあたる。

4、事務局担当理事は、この会の事務全般を所掌する。

5、会計担当理事は、この会の会計全般を所掌する。

6、幹事は、事務局担当理事の職務を補佐する。

7、監事は、この会の会計を監査する。

〔顧問・参予〕
第9条 この会に顧問、及び参予を置くこととする。

1、顧問は、山陰教区教務所長とし、この会への助言または指導をいただくこととする。

2、参予は会長経験者とし必要に応じてこの会への助言などをおこなう。

〔会議〕
第10条 この会の会議などは、次の通りとする。

1、総会は会長が招集し、毎年1回開催しなければならない。

2、理事会は、必要に応じて会長が招集し、この会の運営にあたる。なお理事会はこの会の決定機関とし、議決は出席理事の過半数をもって決定する。

3、役員会は、必要に応じて会長が招集し、会長、副会長、事務局担当理事および会計担当理事で構成する。

4、会計監査会は必要に応じて会長が招集し、この会の会計を監査する。

長が招集し、この会の会計を監査する。

5、会長は、前各項以外で必要とする会議を開催することができるとする。

〔会計〕

第11条 この会の会計は次の通りとする。

1、この会の経費は、会員の拠出による会費及び山陰教区からの助成金、またはその他の収入をもって充当する。

2、この会の会員が退会または休会したときは、当該年度をもって会費の納入が終了する。

3、この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

4、この会の予算・決算は理事会の承認を得て、総会に報告するものとする。

〔会則の改定〕

第12条 この会則の改定は理事会において会則第10条の2により議決し、総会に報告するものとする。

〔付則〕

1、この会則は、1996(平成8)年8月1日から施行する。

2、この会則は、1999(平成11)年4月28日に施行する。

3、この会則は、2000(平成12)年10月31日に施行する。

4、この会則は、2013(平成25)年6月7日に施行する。

5、この会則は、2015(平成27)年12月8日に施行する。

6、この会則は、2016(平成28)年12月27日に施行する。

新教材各問い

	12の問い	サブテーマ（私の問い）
1	私にとって幸せとは何でしょうか。	1. 最近、うれしかったこと、悲しかったことは何ですか。 2. あなたはどんなとき幸せだと感じますか。 3. あなたの幸せの基準をいくつかお聞かせください。
2	葬儀や法事は何のためにするのですか。	1. お仏壇は先祖のいるところではないのですか。 2. 周りに迷惑をかけたくないので、私が死んだら「家族葬」でよいと思っているのですが。 3. 葬儀や法事をしないと罰が当たるのですか。
3	老いて亡くなることがわかっていても、受け入れられません。	1. 私は、自分が死ぬのではないかという不安に耐えられません。 2. 親の介護をしていると、色々な思いがわきます。 3. 看取る側として、どのような心をもてばよいのでしょうか。 4. 家族や友人の死から立ち直れません。どうしたらよいのでしょうか。 5. ペットをなくした寂しさに耐えられません。
4	他人からどう思われているのか、気になって仕方ありません。	1. 地域や職場でみんながやっているようにしなければ疎外感を感じます。みんなに合わせた方がよいのでしょうか。 2. あるがままに生きている人を見るとうらやましく思います。しかし、そのように生きたら身勝手に見られて、関係が壊れるのが怖いのです。 3. 「自分らしく」生きたいと思っていますが、「自分らしさ」をどうやって見つけたらよいのですか。
5	お浄土とは何ですか。	1. 大切な人を亡くしてしまいました。どうしているのでしょうか。 2. 私は死後の世界は無いと思っています。 3. お浄土は私の今の生活とどのような関係があるのですか。
6	私は、神さまも仏さまも信じていますが、それではいけないのですか。	1. 昔からのしきたりで、お寺も神社もみんなで護ってきたものだと思います。でも信教の自由だから、もうしなくてもよいではありませんか。 2. お念仏をとえると何かよいことがありますか。 3. 運勢や占いなど、色々なものを頼りにしていますが、それで本当によいのでしょうか。 4. 靈感商法やカルト宗教にとらわれる人が多いのはなぜでしょうか。
7	自分だけが幸せでよいのでしょうか。	1. 私たちは一人では生きられません。幸せに生きることは私だけの問題ではないように思いますが、自分のことで精一杯です。 2. 大きな災害や事故が起こるたびに、私の身近でなくてよかったと思っています。 3. これだけ多くの人を自死に追い込む社会はおかしいと思います。何か私にできることはないのでしょうか。
8	私は差別をしたことはありません。なぜ部落差別はなくなるのでしょうか。私は何をすればよいのでしょうか。	1. お寺で差別問題の話をする必要はありません。もっとご信心のお話をしていただきたいのですが。 2. この世の差別は、前世の因縁や煩惱によって起こるのでしょうか。 3. 国籍や民族などへの差別は、なぜ無くならないのでしょうか。 4. いじめをなくすために、私は何ができるのでしょうか。 5. いきいきと生きるために、性に関する自由な生き方を求める人が増えています。お互いの悩みや思いを語り合ってみましょう。 6. 障がい者やハンセン病に対する差別について考えてみましょう。

	12の問い	サブテーマ(私の問い)
9	環境・臓器移植・格差などの社会問題は、宗教が入り込む問題ではないと思いますが。	1. 脳死、臓器移植にどのように関わればよいのでしょうか。 2. 快適な生活を続けるためには、原発もやむを得ないという人がいます。どう考えたらよいのでしょうか。 3. 私たちが取り組める環境問題とはどんなことでしょうか。 4. 社会のさまざまな問題は、私一人の力では解決できないのでは。
10	戦争をなくし、平和を築きあげるにはどうしたらよいですか。	1. 宗門は、戦争を再び繰り返してはならないという決意を確認するため、「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」をお勤めしています。この願いをどう受け止めるべきでしょうか。 2. 国のために、愛するものを守るために戦死された方を、靖国神社に祀るのは当然だと思いますが。 3. 平和を維持するために引き起こされる、さまざまな苦しみや悲しみについてどう考えたらよいのでしょうか。 4. 平和を壊す宗教もあるのではないですか。 5. 浄土真宗は戦争についてどのように考えているのですか。
11	この連研を通して、感じたこと気づいたこと、うれしかったことを話し合ってください。	1. 連研を受けて、変わったこと、変わらなかったことは何ですか。 2. 連研を受けて、浄土真宗とはどのような教えだと思いますか。 3. あなたはこれからどんな人生を送りたいですか。そして何を大切にしていきたいですか。
12	「自他ともに心豊かに生きる」とはどのようなことでしょうか。	1. 一緒にいて安心できる人は誰ですか。あなたはどんな時に安心できますか。 2. 「無縁社会」という言葉があります。「つながり」や「きずな」は無くなってしまうのでしょうか。 3. あなたにとってお寺とはどんなところですか。



しおりで学ぼう。

1セット5枚入り
100円

※発送にかかる運賃は着払いとさせていただきます(200セット以上のお申込みの場合、送料は当方が負担いたします)

浄土真宗本願寺派山陰教区「子ども・若者ご縁づくり」推進事業の一環として、家族で仏事について学べる「しおり」を作成しました。ぜひご活用ください。

QRコードをスマートフォンで読み込むと、仏事の解説ページが開きます。

お申し込み・お問い合わせ

浄土真宗本願寺派山陰教区子ども・若者ご縁づくり推進委員会事務局

『一山陰妙好人のことは36選—白蓮華のこよみ』発刊

初刊以来、ご好評を頂いております冊子『山陰妙好人のことは36選』を全面刷新して発刊いたしております。過去にカレンダーに掲載された「ことば」を、当時の絵と揮毫と一緒に36編選んで冊子にまとめたものです。お申込みは山陰教区教務所内カレンダー係までお申込みください。



■86ページ
■108mm×175mm

1部
500円
(送料別途)

2017(平成29)年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会 事業報告

期 日	事 業 名	事 業 内 容
4月4日(火)	伝灯奉告法要：門徒推進員の集い	
5月2日(土)	伝灯奉告法要：門徒推進員の集い	本願寺【参加者 14名/509】
5月9日(火)	監査会	2016(平成28)年度 会計監査
	ともしび編集委員会	「ともしび18号」編集会議
6月15日(木)	理事会	平成28年度事業決算・平成29年度事業予算について
7月6日(木) ～7日(金)	第4連区門推協連絡協議会	【担 当】山口教区 【協議内容】連区実践研について
7月14日(金)	ともしび編集委員会	「ともしび18号」編集会議
7月30日(日)	平成29年度『総会・研修会』	【会 場】山陰教堂教化センター 【講 師】季平 博昭 師 【講 題】「仏道をあゆむ」～伝灯奉告法要御満座の消息をいただいて～
10月28日(土) ～29日(日)	第4連区 門徒推進員『実践運動研修会』	【担 当】山口教区 【会 場】ホテルかめ福 【講 師】松月 博宣 師 【テーマ】お寺へのご縁、「つくり」「つなぎ」「深める」
11月27日(月)	理事会	実践運動研修会について
12月13日(水)	企画委員会	連区門推実践運動研修会について
1月17日(水)	門推代表者協議会	聞法会館
2月24日(土)	連研履修者研修会	【会 場】江津組田勝寺 【テーマ】「自他ともに心豊かに生きる」とはどのようなことでしょうか。 【講 師】三ヶ本義幸 師
3月4日(日)	『実践運動推進研修会』	【会 場】山陰教堂教化センター 【講 師】荒本 由未 師 【講 題】門徒推進員の在り方～ご親教「念仏者の生き方」に学ぶ～

2017(平成29)年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会 一般会計歳計決算

▷歳入

款 項	平成29年度決算額	平成29年度予算額	対比△減	説 明
1 会 費	524,000	521,000	3,000	
1 今年度会費	524,000	520,000	4,000	会員 1,000円×524名
2 過年度会費	0	1,000	△ 1,000	
2 助 成 金	50,000	50,000	0	教区助成金
3 参 加 費	567,000	425,000	142,000	
1 総会・研修会	98,000	100,000	△ 2,000	1,000×98名
2 実践研修会	64,000	100,000	△ 36,000	1,000×64名
3 連区実践研修会	405,000	225,000	180,000	15,000×27名
4 雑 入	1	639	△ 638	預金利子
5 前年度繰越金	782,361	782,361	0	平成28年度繰越金
合 計	1,923,362	1,779,000	144,362	

▷歳出

款 項	平成29年度決算額	平成29年度予算額	対比※超過	説 明
1 事 業 費	678,994	685,000	6,006	
1 総会・研修会	151,648	230,000	78,352	総会研修会開催経費
2 実践運動研修会	122,346	230,000	107,654	実践運動研修会開催経費
3 連区実践研修会	405,000	225,000	※180,000	第4連区実践運動研修会参加費(山口教区担当)
2 広 報 費	118,800	120,000	1,200	ともしび18号印刷経費
3 会 議 費	233,900	355,000	121,100	
1 理事会費	148,300	250,000	101,700	6月15日・11月27日(理事会)/12月13日(企画委員会)
2 編集会議費	19,850	30,000	10,150	ともしび編集会議費
3 監査費	20,750	25,000	4,250	
4 各種研修会費	45,000	50,000	5,000	連区協議会 会長・担当者出向経費
4 通 信 費	32,039	40,000	7,961	各種案内・通信費
5 事 務 費	22,371	40,000	17,629	事務経費
6 交 通 費	74,800	80,000	5,200	各種研修会、協議会にかかる役職者交通費
7 回 金	0	0	0	
8 予 備 費	0	459,000	459,000	
合 計	1,160,904	1,779,000	618,096	

歳入合計	1,923,362	2018(平成30)年5月8日 会計帳簿、領収書、通帳を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。 山陰教区門徒推進員連絡協議会 監 事 <u>渡部 みどり</u> (印) 監 事 <u>田中 國典</u> (印)
歳出合計	1,160,904	
差引合計	762,458	

2018(平成30)年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会 事業計画

期 日	事 業 名	事 業 内 容
5月8日(火)	監査会	2017(平成29)年度 会計監査
6月5日(火) ～6日(水)	第4連区門推協連絡協議会	【担 当】山陰教区 【協議内容】連区実践研について
	ともしび編集委員会	「ともしび19号」編集会議
6月8日(金)	理事会	平成29年度事業決算・平成30年度事業
7月9日(月)	ともしび編集委員会	「ともしび19号」編集会議
7月28日(土)	平成30年度『総会・研修会』	【会 場】山陰教堂教化センター 【講 師】波北 顕師(江津組光善寺) 【講 題】念仏者の生き方に学ぶ
10月27日(土) ～28日(日)	第4連区 門徒推進員『実践運動研修会』	【担 当】山陰教区 【会 場】玉造温泉 松乃湯 【講 師】榮 俊英師 【テーマ】次世代育成について
12月 日	理事会	実践運動研修会について
1月 日	門推代表者協議会	聞法会館
3月 日	『実践運動推進研修会』	
3月24日(日)	連研履修者研修会	【会 場】佐波組法光寺 【テーマ】 【講 師】

2018(平成30)年度 山陰教区門徒推進員連絡協議会 一般会計歳計予算

▷歳入

款 項	平成30年度予算額	平成29年度予算額	対比△減	説 明
1 会 費	525,000	521,000	4,000	
1 今年度会費	524,000	520,000	4,000	会員1,000円×524名
2 過年度会費	1,000	1,000	0	
2 助成金	50,000	50,000	0	教区助成金
3 参加費	1,000,000	425,000	575,000	
1 総会・研修会	100,000	100,000	0	
2 実践研修会	100,000	100,000	0	
3 連区実践研修会	800,000	225,000	575,000	16,000×50名
4 雑 入	542	639	△97	預金利子
5 前年度繰越金	762,458	782,361	△19,903	平成29年度繰越金
合 計	2,338,000	1,779,000	559,000	

▷歳出

款 項	平成30年度予算額	平成29年度予算額	対比△減	説 明
1 事業費	1,260,000	685,000	575,000	
1 総会・研修会	230,000	230,000	0	総会研修会開催経費
2 実践運動研修会	230,000	230,000	0	実践運動研修会開催経費
3 連区実践研修会	800,000	225,000	575,000	第4連区実践運動研修会参加費(山陰教区担当)
2 広報費	120,000	120,000	0	ともしび印刷経費
3 会議費	460,000	355,000	105,000	
1 理事会費	250,000	250,000	0	
2 編集会議費	30,000	30,000	0	ともしび編集会議費
3 監査費	25,000	25,000	0	
4 各種研修会費	155,000	50,000	105,000	連区協議会・連区実践役職者経費
4 通信費	40,000	40,000	0	各種案内・通信費
5 事務費	40,000	40,000	0	事務経費
6 交通費	80,000	80,000	0	各種研修会、協議会にかかる役職者交通費
7 回 金	200,000	0	200,000	第4連区実践運動研修会特別会計へ
8 予備費	138,000	459,000	△121,000	
合 計	2,338,000	1,779,000	559,000	

門 徒 役 員 名 簿

（平成30年4月1日～32年3月31日）

役 職	所属組	所属寺院	名 前
会 長	鳥取因幡	光輪寺	三村 善信※
副 会 長	松 江	明宗寺	福原 一字※
会計担当	出 雲	東林寺	岸本 邦夫
事務担当	大 田 西	瑞泉寺	中西 義昭※
理 事	鳥取因幡	願正寺	池原 宏
理 事	鳥取伯耆	勝福寺	岡崎 岩男
理 事	出 雲	了玄寺	秦 英夫
理 事	神 門	願楽寺	今岡 昌紀
理 事	神 門	乗光寺	藤井 健蔵
理 事	出 雲 南	圓壽寺	田部 富雄
理 事	飯 南	西正寺	田部 五月
理 事	大 田 東	西楽寺	斉藤 寛
理 事	邑 智 西	長円寺	香川 良三
理 事	江 津	願乗寺	西本 佳矩
理 事	浜 田	正蓮寺	佐々岡光宏
監 事	出 雲	源光寺	渡部みどり※
監 事	大 田 東	常見寺	田中 圓而
参 与	松 江	明宗寺	松浦 靖

※印：ともしび編集委員

2018（平成30）年度 第4連区門推協議会実践運動研修会のご案内

- 期 日 2018（平成30）年10月27日(土)～28日(日)
- 会 場 研修会／玉造温泉 ゆ～ゆ
懇親・宿泊・話し合い／玉造温泉 松乃湯
- テーマ 「次世代育成について」
- 講 師 寺院活動支援部長 榮 俊英 師
- 日 程（案）
10月27日(土) 12:00 受付（松乃湯）
13:30 講義・問題提起
14:45 話し合い法座（松乃湯）
18:30 夕食交流会
10月28日(日) 8:30 朝事勤行（ゆ～ゆ）
9:00 活動事例報告
11:15 閉会式
- 参加費 15,000円
- ※詳細は決定後ご通知いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

2018（平成30）年度 門徒推進員中央教修開催日程

回数	期 間	定員	締切予定日 (1カ月前)
第260回	2018(平成30)年 5月25日(金)～5月28日(月)	50名	4月25日
第261回	2018(平成30)年 7月13日(金)～7月16日(月)		6月13日
第262回	2018(平成30)年 9月7日(金)～9月10日(月)		8月7日
第263回	2018(平成30)年 10月19日(金)～10月22日(月)		9月19日
第264回	2018(平成30)年 11月30日(金)～12月3日(月)		10月30日
第265回	2019(平成31)年 2月8日(金)～2月11日(月)		1月8日

※50名の定員に達し次第申込みを締め切ります。2017（平成29）年度は非常に多くのお申込みをいただき、各回早期に募集を締め切っております。お近くにお申込みをお考えになられている方がいらっしゃいましたら、お早目の手続きをお願いいたします。

編 集 後 記

教区門推会報「ともしび」第19号をお届けします。寄稿いただいた方々、編集に携わった門推理事さまに感謝申し上げます。四年に一度のサッカーワールドカップが開催されています。西野ジャパン、頑張りましたけど、非常に残念でした。私は小さいころからサッカーをやっていたので、スポーツニュースでサッカーの結果をやっているとつい見えてしまいます。

ある時、テレビで試合を観ていると「大人がひとつのボールを追いかけて、あっちこっち蹴っているのを見て、何がおもしろい？」と言われたことがあります。その時には「ハテナ？？」と思い、言われた意味が分かりませんでした。後でふと《なるほどなあ、興味がない人からみると、そういう風にみえるんだ》と、考えさせられました。見方が違うと同じものでも全く別ものに見えてしまうということですね。

愚かな価値観しかもたない人間から、如来さまの智慧と眼をいただいて転ぜられていく姿に少し似ているのかな：と思いつつ、大人がボールを追いかけるが蹴りあっているワールドカップを見ている私がいきました。

こんなところにもはたらき続けてくださる阿弥陀さま、ハッピーな一日！！

【担当者】